

「闇の光」— 李逸琰作品展

展示時間: 2021.11.17-2021.12.05

※最終日は15時まで 月曜休館

序文 / Preface

「われわれ東洋人は何でも無い所に陰翳を生ぜしめて、美を創造するのである」今から90年前に著された谷崎潤一郎の随筆「陰翳礼讃」。光と闇という観点から日本人の美意識を読み解いて、「闇」と「光」というキーワードを日本美術に結びつける重要な手がかりと位置付けています。本展では、谷崎文学をテーマにして作られた漆器と日本画をご覧いただけます。漆器や絵画から陰翳の中に潜む美の魅力に注目します。闇を柔らかく照り返すような漆器をはじめ、煌めく抑えられた光に潜む闇を描いている日本画をご紹介します。闇の中に浮かび上がる美の世界をお楽しみください。

アーティスト紹介 / Artist information

李逸琰 [LI Yiyan]

1990年5月中国・北京生まれ。2013年7月中央美術学院ホームプロダクトデザイン専門卒業。2015年東京藝術大学文化財保存学保存油画研究室交換留学。2019年富山大学芸術文化科学研究科芸術文化学専攻修了。現在、金沢美術工芸大学美術工芸専攻博士後期課程在籍。作品は、輪島漆芸美術館、石川県政記念いのき迎賓館、松坂屋名古屋店美術画廊、東京高島屋美術画廊などに展示された。

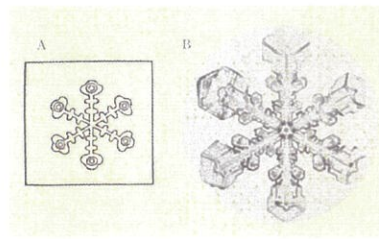
沈金体験講座「『細雪』から見た雪花: 黒と金に輝く作品を作ろう!」

谷崎文学の代表作である『細雪』を想像しながら、オリジナルな漆器をご自身で作ってみませんか?

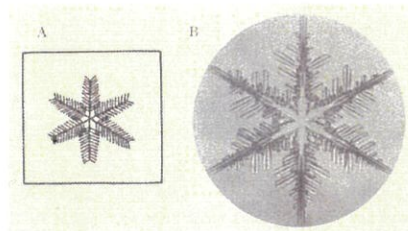
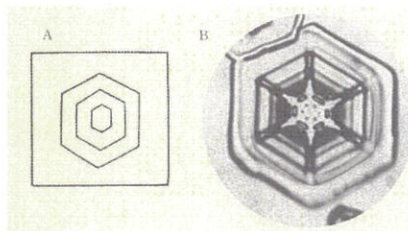
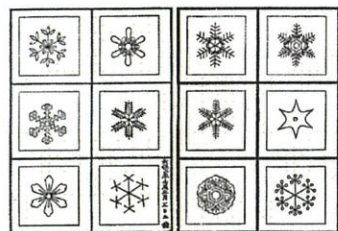
日本画と漆芸の専門講師が、貴方だけの漆器作成をお手伝いいたします!

漆塗りの切手盆に「沈金」という技法を用いて『細雪』文様を作りましょう!

体験後お持ち帰りいただけます。



ワークショップのイメージ図と参考図。



実施日期: 11月20日(土) 13時~16時

実施場所: 谷崎潤一郎記念館講義室

参加人数: 10人(要予約)

受講料: 1000円(入館料を含む)※別途材料費2500円

持ち物: 眼鏡(必要な方)

かぶれが気になる方: エプロンや腕カバー

〒659-0052

Tel: 0797-23-5852

芦屋市伊勢町12-15 Fax: 0797-38-3244

<https://www.tanizakikan.com/>

芦屋市谷崎潤一郎記念館

<ロビーギャラリー>



交通

徒歩 阪神芦屋駅から南東へ15分

バス・阪急芦屋川駅
・JR芦屋駅
・阪神芦屋駅

いずれも「緑町」下車、東へ徒歩1分

駐車場

隣の美術博物館20台
図書館47台